

- 学会第30回九州地方会大会および総会, 長崎市, 2012.10.27.
- 15) 齊藤一誠, 稲田絵美, 村上智哉, 山崎要一, 野口洋文: 初代歯髓細胞培養における feeder 細胞の有用性, 第39回日本臓器保存生物医学会学術集会, 福島市, 2012.11.16-17.
 - 16) 佐藤正宏, 赤坂恵理, 齊藤一誠, 大塚正人, 渡部 聡: マウス成熟卵胞細胞への生体内遺伝子導入法の開発, 第35回日本分子生物学会年会, 福岡市, 2012.12.11-12.14
 - 17) 大野 幸, 梶谷 淳, 遠矢明菜, 齊藤陽子, 相山加綱: 先天性心疾患を有する歯科患者の麻酔管理経験, 第23回九州歯科麻酔シンポジウム, 熊本市, 2013.2.13.

【受賞】

- 1) 平成23年度日本小児歯科学会 奨励賞受賞
岩瀬陽子, 小児の咬合接触から考える顎口腔機能, 第50回日本小児歯科学会大会 奨励賞受賞講演, 東京都, 2012.5.13. 小児歯誌 50 (2): 69, 2012.
- 2) 第50回日本小児歯科学会大会 優秀発表賞 受賞
村上大輔, 稲田絵美, 齊藤一誠, 海原康孝, 奥 猛志, 岩崎智憲, 長谷川大子, 深水 篤, 佐藤秀夫, 武元嘉彦, 窪田直子, 伊藤千晶, 乃村俊樹, 田中みゆき, 井形紀子, 香西克之, 山崎要一, 小児の口呼吸における関連因子の抽出と口唇閉鎖力との関連性についての先行研究, 第50回日本小児歯科学会大会, 東京都, 2012.5.12-13.
- 3) 日本睡眠学会第37回定期学術集会 Best Presentation 賞 受賞
岩崎智憲, 齊藤一誠, 原田みずえ, 宮下圭一, 松根彰志, 武元嘉彦, 深水 篤, 佐藤秀夫, 稲田絵美, 長谷川大子, 覚野恵梨子, 嘉ノ海龍三, 早崎治明, 黒野祐一, 山崎要一: 上気道流体シミュレーションを用いた上顎骨急速拡大による歯科治療前後の吸気時咽頭気道圧の評価, 日本睡眠学会第37回定期学術集会, 横浜市, 2012 6.28-6.30.
- 4) デンツプライ賞, Yamada-Ito C, Saitoh I, Yashiro K, Inada E, Maruyama T, Takada K, Hayasaki H, Yamasaki Y: Smoothness of Jaw Movement during Gum Chewing in Children with Primary Dentition. Journal of Craniomandibular Practice, 2012 (In press).

【その他】

- 1) 齊藤一誠: 一般社団法人日本小児歯科学会-会務報告. 日歯医学会誌: 32, 121, 2013.
- 2) 早崎治明: 小児歯科臨床の動向, 久留米市歯科医師会講演会, 2012.7.6.

- 3) 大島邦子: H24年度健やか歯ぐき指導者研修会, 佐渡市, 2012.7.31.
- 4) 大島邦子: H24年度健やか歯ぐき指導者研修会, 長岡市, 2012.8.6.
- 5) 大島邦子: H24年度健やか歯ぐき指導者研修会, 上越市, 2011.8.8.
- 6) 大島邦子: H24年度健やか歯ぐき指導者研修会, 新発田市, 2012.8.16.
- 7) 大島邦子: 2012年度第7期アレルギー大学 赤ちゃんの口の機能の発達とアレルギー, 新潟, 2012.8.25.
- 8) 大島邦子: 新潟市障害者歯科事業協力衛生士研修会, 新潟, 2012.8.26.
- 9) 早崎治明: 小児の歯科口腔保健, 上越地域歯科保健研修会, 上越市, 2012.8.27.
- 10) 坂井幸子: 歯科講話. 新潟大学附属新潟小学校, 新潟市, 2012.10.24.
- 11) 坂井幸子: 歯科講話. 新潟大学附属新潟中学校, 新潟市, 2012.10.25.
- 12) 松山順子: 平成24年度ブロック別児童福祉施設給食関係者研修会, 小児期の口腔と食べる機能の発達～歯科の立場からの食育支援～, 越後湯沢, 2012.10.30.
- 13) 早崎治明: 小児の歯科医療の傾向, 中越地区歯科医学会, 2012.11.17.
- 14) 早崎治明: “成育”の概念と最近の臨床のトピック, 新潟臨床小児歯科研究会, 2012.11.28.
- 15) 早崎治明: 学校で起こりうる口腔外傷とその対応, 新発田市歯科医師会学術講演会, 2012.11.29.

【特許】

- 1) 早崎治明: 歯ブラシ評価キット, 歯ブラシ評価方法, 介助磨き評価キット, 介助磨き評価方法 整理番号: P0334TEP12

顎顔面放射線学分野

【論文】

- 1) Hayashi T Application of ultrasonography in dentistry. Jpn Dent Sci Rev 48:5-13, 2012.
- 2) Izumo T, Kirita T, Arijii E, Ozeki S, Okada N, Okabe S, Okazaki Y, Omura K, Kusama M, Sato T, Shinohara M, Shimozato K, Shintani S, Tanaka Y, Nakayama E, Hayashi T, Miyazaki A, Yagishita H, Yamane M: Working Group 1 on the "Guidelines for Clinical and Pathological Studies of Oral Cancer", Scientific Committee, Japan Society for Oral Tumors. General rules for clinical and

- pathological studies on oral cancer: a synopsis. *Jpn J Clin Oncol* 42 (11) :1099-1109, 2012.
- 3) Arasawa M, Oda Y, Kobayashi T, Uoshima K, Nishiyama H, Hoshina H, Saito C: Evaluation of bone volume changes after sinus floor augmentation with autogenous bone grafts. *Int J Oral Maxillofac Surg* 41 (7) :853-857, 2012.
 - 4) Tsuneki M, Maruyama S, Yamazaki M, Abe T, Adeola H, Cheng J, Nishiyama H, Hayashi T, Kobayashi T, Takagi R, Funayama A, Saito C, Saku T : Inflammatory histopathogenesis of nasopalatine duct cyst : a clinicopathological study of 41 cases. *Oral Dis*. Sep 13[Epub ahead of print] 2012.
 - 5) Saito M, Nishiyama H, Oda Y, Shingaki S, Hayashi T : The lingual lymph node identified as a sentinel node on CT lymphography in a cN0 squamous cell carcinoma of the tongue -report of a case-. *Dentomaxillofac Radiol* 41 (3) :254-258, 2012.
 - 6) Kodama Y, Seo K, Hayashi T, Kobayashi T, Niwano M, Koyama T, Murayama M, Takagi R : Orofacial pain related to traumatic neuroma in a patient with multiple TMJ operations. *Cranio* 30 (3) :183-187, 2012
 - 7) Arashiyama T, Kodama Y, Kobayashi T, Hoshina H, Takagi R, Hayashi T, Cheng J, Saku T. Ghost cell odontogenic carcinoma arising in the background of a benign calcifying cystic odontogenic tumor of the mandible. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol* : 114 (3) :e35-40,2012.
 - 8) Katsura K, Ito K, Nohno K, Funayama S, Saito M, Hayashi T: Evaluation of the relationship between salivation ability and blood flow velocity in the submandibular gland using pulsed Doppler ultrasonography. *Oral Radiol* 29 (1) :13-18,2013.
 - 9) Nikkuni Y, Nishiyama H, Hayashi T : Clinical significance of T2 mapping MRI for the evaluation of masseter muscle pain in patients with temporomandibular joint disorders. *Oral Radiol* 29 (1) :50-55,2013
 - 10) Ito K, Funayama S, Katsura K, Kaneko N, Nohno K, Saito M, Yamada A, Sumida Y, Inoue M. Moistened techniques considered for patients? Comfort and operators? Ease in dental treatment. *Int J Oral-Med Sci* 11 (2) :85-89, 2012.
 - 11) Togashi M, Kobayashi T, Hasebe D, Funayama A, Mikami T, Saito I, Hayashi T, Saito C: Effects of surgical orthodontic treatment for dentofacial deformities on signs and symptoms of temporomandibular joint. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol* 25:18-23, 2013.
 - 12) Katsumi Y, Tanaka R, Hayashi T, Koga T, Takagi R, Ohshima H: Variation in arterial supply to the floor of the mouth and assessment of relative hemorrhage risk in implant surgery. *Clin Oral Implants Res* 24 (4) :434-440,2013.
 - 13) 小島 拓, 新垣 晋, 齊藤 力, 林 孝文, 程じゅん, 朔 敬: 臼後部に発生した多形低悪性度腺癌の1例. *日口外誌* 58 (4) :262-266, 2012
- 【商業誌】**
- 1) 岡野友宏, 新井嘉則, 伊藤公一, 須田英明, 西堀雅一, 横宏太郎, 朝田芳信, 林 孝文: 歯科診療における歯科用コーンビーム CT の基礎的・臨床的評価. *日本歯科医学会雑誌* 31:64-68, 2012.
- 【研究費獲得】**
- 1) 林 孝文: 64 列 MDCT perfusion による潜在的顎部転移リンパ節可視化の試み. 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 23592759, 2011 ~ 2013.
 - 2) 田中 礼: Dual Energy CT イメージングによる顎骨骨髓微小循環描出の試み. 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 23592760, 2011 ~ 2013.
 - 3) 西山秀昌: 自律神経系は咀嚼筋の T2 値に関するのか?. 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 23592761, 2011 ~ 2014.
 - 4) 舌癌の後発リンパ節転移のスクリーニング-口底のバリアー欠損は転移ルートか-. 学術研究助成基金助成金 若手研究 (B), 23792143, 2011 ~ 2013.
 - 5) 勝良剛詞: 3 次元線量分布解析システムを用いた金属修復物とスピーサーの線量分布への影響の解明. 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 24592830, 2012 ~ 2015.
 - 6) 林 孝文: CT 灌流画像による顎部転移リンパ節の早期診断. 平成 24 年度新潟大学医歯学総合病院臨床研究サポート事業経費, 2012.
- 【招待講演・シンポジウム】**
- 1) Hayashi T : The role of CBCT and medical CT in dental implant treatment -from the viewpoint of the clinical practice guidelines for dental implant imaging-. 16th Scientific Meeting and Refresher Course in Dentistry (KPPIKG), Jakarta,Indonesia, March 2, 2013.
 - 2) 太田嘉英, 桐田忠昭, 楠川仁悟, 大倉正也, 新谷 悟,

- 林 孝文, 美島健二, 森 泰昌, 出雲俊之: ワークショップ1: 外科病理シリーズ「規約課題の検討報告」・舌癌高悪性度群の検討. 第31回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 東京, 2013年1月24-25日
- 3) 林 孝文, 有地淑子, 木村幸紀, 草深公秀, 野口忠秀, 山根正之: ワークショップ1: 外科病理シリーズ「規約課題の検討報告」・舌エコー標準化の可能性の検証. 第31回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 東京, 2013年1月24-25日).
- 4) 林 孝文: ワークショップ2: 口腔癌原発巣のイメージング 口腔癌原発巣に対する超音波口腔内走査の現状と将来像. 第31回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 東京, 2013年1月24-25日.
- 【学会発表】**
- 1) 林 孝文: 舌エコーによる舌癌深達度評価基準策定に向けての検討. 第71回日本医学放射線学会総会, 横浜市, 2012年4月14日, 同学会学術集会抄録集71: 263頁, 2012.
- 2) 林 孝文, 富岡寛文, 小村 健, 柳 文修, 浅海淳一, 筑井 徹, 吉浦一紀, 南雲達人, 新谷 悟, 有地淑子, 有地榮一郎, 湯浅賢治, 楠川仁悟, 野口忠秀, 草間幹夫, 石井純一, 山根正之: 舌癌深達度エコー評価基準の策定. 第66回NPO法人日本口腔科学会学術大会, 広島市, 2012年5月17日, 日本口腔科学会雑誌62(1): 45頁, 2013.
- 3) 朝日藤寿一, 小野和宏, 竹山雅規, 松山順子, 八木稔, 泉 直也, 小山貴寛, 池真樹子, 石澤尚子, かづきれいこ, 小林正治, 寺田員人, 齊藤 力, 高木律男, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院(歯科)における口蓋裂診療班の活動について. 第36回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 京都市, 2012年5月24-25日, 日本口蓋裂学会雑誌37(2): 176, 2012.
- 4) 林 孝文, 池真樹子, 新国 農, 齋藤美紀子, 小山純市, 田中 礼, 勝良剛詞, 西山秀昌: 潜在的頸部リンパ節転移へのCT perfusionの応用. 第53回日本歯科放射線学会学術大会, 盛岡市, 2012年6月2日.
- 5) 西山秀昌, 新国 農, 林 孝文: 脂肪抑制を併用しないFSE系列Double echo画像を用いた簡易T2値およびT2値の強調画像について. 第53回日本歯科放射線学会学術大会, 盛岡市, 2012年6月2日.
- 6) 勝良剛詞, 齋藤美紀子, 林 孝文, 高木律男, 今井千速, 吉田咲子, 細貝亮介, 後藤早苗, 三富智子: 小児がん治療におけるIntensive Oral Managementの粘膜炎・発熱病脳期間短縮効果. 第9回日本口腔ケア学会総会・学術大会, 日進市, 2012年6月15-17日.
- 7) Saito M, Nishiyama H, Katsura K, Ike M, Koyama J, Tanaka R, Nikkuni Y, Hayashi T: CT lymphography in cN0 tongue cancer patients: preliminary study. The 9th Asian Congress of Oral and Maxillofacial Radiology, Xi'an (China), September 14-16, Abstract and Program: 67, 2012.
- 8) Ike M, Koyama J, Nishiyama H, Saito M, Tanaka R, Katsura K, Nikkuni Y, Hayashi T: Significance of the soft-tissue algorithm CT images in the evaluation of surrounding bone of the dental implant. The 9th Asian Congress of Oral and Maxillofacial Radiology, Xi'an (China), September 14-16, Abstract and Program: 127, 2012.
- 9) 小山純市, 西山秀昌, 新国 農, 田中 礼, 齋藤美紀子, 勝良剛詞, 池真樹子, 林 孝文: 顎骨内のフィクチャー周囲の濃度計測における軟組織アルゴリズムCT画像の有用性(骨アルゴリズム再構成画像との比較). NPO法人日本歯科放射線学会第17回臨床画像大会, 大阪市, 2012年10月26-27日.
- 10) 林 孝文, 佐野 司, 庄司憲明, 田口 明, 筑井 徹, 中山英二, 村上秀明: 埋伏下顎第三大臼歯の術前画像診断における歯科用コンビームCTのガイドライン(暫定版). NPO法人日本歯科放射線学会第17回臨床画像大会, 大阪市, 2012年10月26-27日.
- 11) 新国 農, 西山秀昌, 林 孝文: 顎関節症患者の咬筋痛の評価におけるT2 mapping MRIの有用性. 平成24年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2012年11月10日, 新潟歯学会雑誌42(2): 144頁, 2012.
- 12) 嵐山貴徳, 高木律男, 安島久雄, 池田順行, 大貫尚志, 齋藤太郎, 小川 信, 林 孝文: 下顎頭縦骨折一臨床統計的検討ならびに発症機序に関する一考察. 平成24年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2012年11月10日, 新潟歯学会雑誌42(2): 146頁, 2012.
- 13) 上杉崇史, 小林正治, 長谷部大地, 田中 礼, 池真樹子, 齊藤 力: 顎矯正手術が咽頭気道形態と睡眠時の呼吸機能に及ぼす影響について. 平成24年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2012年11月10日, 新潟歯学会雑誌42(2): 147頁, 2012.
- 14) 勝良剛詞, 林 孝文, 木村修平: 歯科金属修復物による放射線粘膜炎増悪の緩和を目的とした散乱線防護用スパーサーの使用経験. 第31回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 東京, 2013年1月24-25日, 同学会総会・学術大会プログラム・抄録集31: 184頁, 2013.
- 15) 勝良剛詞, 林 孝文, 後藤早苗: 頭頸部放射線治療後の根面性状の経時的変化と根面性状変化に対する

CPP-ACPの影響. 第31回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 東京, 2013年1月24-25日, 同学会総会・学術大会プログラム・抄録集 31:184頁, 2013.

- 16) 小玉直樹, 永田昌毅, 福田純一, 池田順行, 西山秀昌, 林 孝文, 高木律男: デンタルエックス線画像による根尖部透過像から診断に至った多発性骨髄腫の一例. 第31回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 東京, 2013年1月24-25日, 同学会総会・学術大会プログラム・抄録集 31:233頁, 2013.

【特別講演】

- 1) 勝良剛詞: 造血幹細胞移植治療における Oral Care の意義と歯科医療の役割. 第22回 新潟造血幹細胞移植研究会, 新潟市, 2012年4月3日.
- 2) 林 孝文: 歯科における超音波組織弾性イメージングの臨床応用. The 11th Conference on Biomechanics in Niigata [第11回日本実験力学学会バイオメカニクス分科会研究会], 新潟市, 2012年4月28日.
- 3) 林 孝文: 頭頸部の超音波診断法 頸部リンパ節・舌粘膜の描出法および読影法の習得, NPO法人日本歯科放射線学会教育研修会第19回実技研修会, 石狩郡当別町, 2012年11月18日.
- 4) 勝良剛詞: 「がん治療と歯科医療」- 地域歯科医療ががん患者の命と生活を支える時代 -. 平成24年度 上越歯科医師会 口腔ケア研修会, 上越市, 2012年12月13日.

【研究会発表】

- 1) 斎藤美紀子, 西山秀昌, 勝良剛詞, 林 孝文. cN0舌癌のCT lymphography - リンパ経路と至適撮影タイミングについて -. 新潟画像医学研究会, 新潟市, 2012年6月16日.

【受賞】

- 1) 高嶋真樹子, 河村篤志, 白井友恵, 奥村暢旦, 荒井良明, 林 孝文, 高木律男: 超音波診断装置を用いた咬筋の硬さの定量的評価. 第25回日本顎関節学会学術大会ポスター発表優秀賞. 第25回日本顎関節学会総会・学術大会, 札幌市, 2012年7月14日.

【その他】

- 1) 勝良剛詞: がんチーム医療における Oral Management と歯科衛生士の役割. 平成24年新潟大学医歯学総合病院診療支援部歯科衛生士部門勉強会, 新潟市, 2012年8月7日.

摂食・嚥下リハビリテーション学分野

【著書】

- 1) 堀 一浩: PAPの診断・設計・製作, Q&Aでわかる摂食機能療法・舌摂食補助床ガイド (前田芳信監修), クインテッセンス出版社, 東京, 印刷中, 2013
- 2) 伊藤加代子, 野村修一: 口腔乾燥症, プロストドンティクス, 永末書店, 京都, 印刷中, 2013.
- 3) 井上 誠: 口腔環境と摂食・嚥下障害. 今日の治療指針, 1297-1298頁, 医学書院, 東京, 2012.
- 4) 井上 誠: 口腔ケアを解剖する - 生理学の立場から -. 黒岩恭子の口腔ケア&口腔リハビリはなぜ食べられる口になるのか, 22-31頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2012.
- 5) 井上 誠: 座談会. 黒岩恭子の口腔ケア&口腔リハビリはなぜ食べられる口になるのか, 25-35頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2012.
- 6) 井上 誠: 要介護者への口腔ケアのポイント. 新口腔の生理から?をとく (森本俊文監修), 54頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2012.
- 7) 井上 誠: どうして「おえっ」となりやすい人でも食物は飲み込めるのだろうか?. 新口腔の生理から?をとく (森本俊文監修), 76-80頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2012.

【論文】

- 1) Taniguchi H, Matsuo K, Okazaki H, Yoda M, Inokuchi H, González-Fernández M, Inoue M, Palmer JB: Fluoroscopic evaluation of tongue and jaw movements during mastication in healthy humans, Dysphagia, in press, 2013.
- 2) Ito K, Funayama S, Katsura K, Saito M, Kaneko N, Nohno K, Yamada A, Sumida Y, Inoue M: Moistened techniques considered for patients' comfort and operators' ease in dental treatment, Int J Oral-Med Sci, 11 (2) : 85 - 89, 2013.
- 3) Katsura K, Ito K, Nohno K, Funayama S, Saito M, Hayashi T: The relationship between the salivation ability and the blood flow velocity in the submandibular gland using pulsed Doppler ultrasonography. Oral Radiol., 29 : 13 - 18, 2013.
- 4) Ding P, Campbell-Malone R, Holman SD, Lukasik SL, Fukuhara T, Gierbolini-Norat EM, Thexton AJ, German RZ: Unilateral superior laryngeal nerve lesion in an animal model of dysphagia and its effect on sucking and swallowing. Dysphagia, in